

8月の農薬

No. 5 - 1

平成27年8月1日

『農薬』の使用による『みつばち』への危害を防ぎましょう。

○農薬を使用する場合、近隣のみつばち飼育の有無を確認しましょう。

※みつばち飼育の情報は、山形県農林水産部畜産振興課（TEL:023-630-2435）にお問い合わせください。

○みつばち飼育者に対して、農薬散布の情報（散布時期、時間帯、薬剤の種類・名称など）を事前に提供しましょう。

水 稲

県のカメムシ防除に係る指導内容

- ①防除適期は、穂揃期と穂揃期の7～10日後の2回。
- ②ネオニコチノイド系薬剤を使用する場合は、穂揃期7～10日後が最適。
- ③日頃から、畦畔、農道の除草に努める。
- ④出穂前の除草はカメムシ類の水田内侵入を助長するので行わない。
なお、やむを得ずこの時期に除草する場合は、防除計画と合わせて行う。

時期	農薬名	規格	譲渡書	主な対象病害虫	効果	使用方法、使用量			
8月上旬(出穂期)・8月上旬中旬(穂揃期)・8月中下旬	カスミン粉剤DL	3kg	-	穂いもち(第1回-穂孕後期)	治・予	*ダブルカット粉剤DLは在庫販売品目のため、在庫がなくなり次第3DLに切替となります。			
	ダブルカット粉剤DL		-		治・予				
	ラブサイド粉剤DL		-		予防				
	ビーム粉剤DL		-		予防				
	ノンプラス粉剤DL		-		治・予				
	ブラシン粉剤DL		-		治・予				
	ノンプラスフロアブル		-		治・予				
	ダブルカットフロアブル		-		治・予				
	カスミン液剤		500ml		-		穂いもち(第3回-前回散布の7日後)	治・予	*カスミンおよびダブルカット単剤、混合剤の使用時期は「穂揃期」まで厳守する。
	ラブサイドフロアブル				-			予防	
ビームゾル	○	予防							
8月上旬(出穂期)・8月中旬	バリダシン粉剤DL	3kg	-	紋枯病	10a当り3～4kg散布する。	10a当り3～4kg散布する。			
	モンカットファイン粉剤20DL		-						
	バシタックゾル	500ml	-				1,000倍(100ml/100ℓ)を10a当り120ℓ散布する。		
	モンカットフロアブル	500ml	-				1,000倍(100ml/100ℓ)を10a当り120ℓ散布する。		
8月上旬中旬(出穂期)・穂揃期	キラップ粒剤	3kg	-	カメムシ類	出穂期～穂揃期に使用する。キラップ粒剤、スタークル粒剤は3kg/10a、ダントツ粒剤は3～4kg/10aを湛水散布する。	10a当り3～4kg散布する。			
	スタークル粒剤	3kg	-						
	ダントツ粒剤	3kg	-						
	スミチオン粉剤3DL	3kg	-	カメムシ類(イネアオムシ)	10a当り3～4kg散布する。	1,000倍を10a当り120ℓ散布する。			
	トレボン粉剤DL		-						
	MR.ジョーカー粉剤DL		-						
	スミチオン乳剤		500ml				-		

時期	農薬名	規格	譲渡書	主な対象病害虫	使用方法、使用量		
8月上旬(出穂期)・中旬(穂揃期)	トレボン乳剤	500ml	-	斑力メムシ類	トレボン乳剤は2,000倍、トレボンEWは1,000倍で散布する。合ピレ剤なので、蚕毒に注意する。		
	トレボンEW	500ml	-				
	MR.ジョーカーEW	500ml	-			2,000倍で使用する。合ピレ剤なので蚕毒に注意する。	
8月中下旬(穂揃期の7～10日後)	キラップ粉剤DL	3kg	-	斑力メムシ類	10a当り3～4kg散布する。		
	キラップ微粒剤F		-				
	スタークル粉剤DL	3kg	-			10a当り3kg散布する。	
	キラップフロアブル	500ml	-			2,000倍、10a当り120ℓ散布する。	
	スタークル液剤10		-			1,000倍、10a当り120ℓ散布する。	
	ダントツフロアブル	333ml	-			5,000倍、10a当り120ℓ散布する。	
	ラブサイドスタークル粉剤DL	3kg	-			穂いもち類	10a当り3～4kg散布する。
	ブラシダントツ粉剤DL	3kg	-				
	ブラシンキラップ粉剤DL	3kg	-				
	8月上旬(出穂期)・8月中旬(穂揃期)	ブラシンバリダ粉剤DL	3kg			-	穂紋いもち類
ノンプラスバリダ粉剤DL		-					
ブラシントレバリダ粉剤DL		3kg	-	穂ウシマダロヨコバイカメムシ類イナゴ類	10a当り3～4kg散布する。		

○合成ピレスロイド剤(トレボンEW、乳剤、粉剤DL)は、蚕、魚類に対する毒性が特に強いので、桑園、養魚池、河川の近くでは使用しない。また、MR.ジョーカー剤、ダントツ剤、スタークル剤は蚕に対する毒性が特に強いので桑園の近くでは使用しない。(県防除基準合成ピレスロイド剤等安全対策(7頁)参照)
*カスミンおよびカスラブサイド・ダブルカット単剤、混合剤については、使用時期が「穂揃期まで」となっておりますので、穂揃期以降に使用させない様注意して指導をお願いします。

おうとうのカイガラムシ対策の中心薬剤 アプロードフロアブルの適用作物および害虫(プロフェジン 200%)

作物名	適用害虫名	希釈倍数	散布液量	使用時期	総使用回数*
おうとう	カイガラムシ類幼虫	1,000～1,500倍	200～700ℓ	収穫7日前まで	2回以内

- 特長**
- 幼虫の脱皮を阻害し、齢末期～脱皮時に死亡させる昆虫成長制御剤である。
 - 殺成虫力はないが、未ふ化卵を産下させる作用をもつため、次世代の増殖を少なくし密度抑制に寄与する。
 - 多くの天敵に対して悪影響がなく、天敵の保護・活用場面にも適した薬剤である。
 - 哺乳動物に対する毒性は極めて低く、高度な選択性を有する。
 - フロアブル製剤のため薬剤の秤量がしやすく、作物に対する汚れも少ない。

おうとうのカイガラムシ防除の考え方と防除時期

- 本来は休眠期と5月下旬から6月上旬の第1回目の孵化期が防除時期となるが、おうとうの場合収穫期と重なる場合があるため7月下旬から8月上旬にかけての第2回目の孵化期に防除する。また、発生密度が高く多発している場合はスプラサイド水和剤等の有機リン剤と体系防除を行う。

カイガラムシの発生予察法について(8月上旬～中旬の孵化期防除のために)

- 予察方法
 1. カイガラムシが発生している枝の上方にビニールテープを巻き付ける。(テープの色は赤、黄色系は避けたほうがよい。)
 2. 巻きつけたテープの上に両面テープを取り付ける。
 3. あまり長い間放置すると粘着力が弱くなるので定期的に両面テープを取り替えながら、幼虫の発生状況を確認する。
 4. カイガラムシの幼虫はオレンジ色をしている。
 5. 取り付けは8月5日までに完了する。

・本資料は防除の一例です。気象条件や作物の生育状況をふまえ、県関係機関にご相談のうえ、現場に沿った適正な防除指導をお願いいたします。
・農薬は登録内容が変更になる場合がございます。使用前に再度登録内容をご確認のうえ、ご使用いただきますようお願いいたします。



もっと近くに。

全農山形県本部 生産資材部

電話番号 023-634-8157

FAX番号 023-634-8182

農薬はJAマークの製品を!

先入れ先出しの励行を!

8月の農薬

No. 5 - 2

平成27年8月1日

農作業前の農機具の点検確認やドリフト対策をしっかりと行い安全で適正な防除に努めましょう。

りんご

- ・斑点落葉病の重点防除時期です。
- ・殺ダニ剤はハダニの発生初期に散布する。

散布時期	農薬名	規格	譲渡書	主な対象病虫害	倍水100ℓ 当り薬量	10a当り 散布量	備考
8月上旬	※ 殺虫剤			シンクイムシ類 (ハマキムシ類) (クマダシニ類)	下記のいずれか		混用 いずれかを殺虫剤と混用し散布
	※ 有機銅剤				下記のいずれか		
	ロブラール水和剤	500g	-	斑点落葉病	1,500倍 67g	700ℓ 467g	
	ナリアWDG	250g	-		2,000倍 50g	700ℓ 350g	
	ストロビードライフフロアブル	250g 500g	-	黒斑点 星落葉病	2,000倍 50g	700ℓ 350g	
	ベルコートフロアブル	500ml	-	黒斑点 星落葉病	1,000倍 100ml	700ℓ 700ml	
	展着剤						
8月下旬	※ 殺虫剤			モモシンクイガ キンモンソガ	下記による		
	※ 有機銅剤			黒斑点 星落葉病			
	展着剤						

- ・ストロビードライフフロアブルは混用可能が確認された薬剤のみ使用する。おとうには葉害の恐れがあるので飛散しない様に注意する。
- ・ストロビードライフフロアブルは、ダズバン、スミチオン、オマイトとの混用は避ける。(葉害)

※ 有機銅剤

農薬名	規格	譲渡書	主な対象病虫害	倍水100ℓ 当り薬量	10a当り 散布量	備考
オキシラン水和剤	500g 1.67kg	-		600倍 167g	700ℓ 1,167g	いずれかを使用する。
オキシンドー水和剤80	500g 835g	-	斑点落葉病 黒褐輪	1,200倍 83g	700ℓ 583g	
ドキリンフロアブル	500ml	-		1,000倍 100ml	700ℓ 700ml	

※ 殺虫剤

農薬名	規格	譲渡書	モモシンクイガ	キンモンソガ	倍水100ℓ 当り薬量	10a当り 散布量	ボルドー混用	備考
スタークル顆粒水溶剤	250g 500g	-	○	○	2,000倍 50g	SS 600ℓ 手散布 700ℓ	○	いずれかを使用する。
フェニックスフロアブル	250ml 500ml	-	○	○	4,000倍 25g		○	
サイアノックス水和剤	500g 1kg	-	○	○	1,000倍 100g		×	
ダズバンDF	167g	○	○	○	3,000倍 33g		○	
アクタラ顆粒水溶剤	500g	-	○	○	2,000倍 50g		×	

- ㊤ 早生種の収穫前日数に配慮して、使用してください。 ○可、×不可
- ㊦ ダズバンDFはストロビードライフフロアブルとの混用は避ける。

※ 8月のりんご殺ダニ剤

農薬名	規格	譲渡書	リンゴハダニ	ナダミニ	倍水100ℓ 当り薬量	10a当り 散布量	ボルドー混用
コロマイト水和剤	500g	-	◎	◎	2,000倍 50g	SS 600ℓ 300g	○
マイトコーネフロアブル	500ml	-	△	◎	1,000倍 100ml	SS 600ℓ 600ml	×
ダニゲッターフロアブル	250ml	-	◎	◎	2,000倍 50ml	SS 600ℓ 300ml	×
ダニコングフロアブル	250ml	-	◎	◎	2,000倍 50ml	SS 600ℓ 300ml	×

- ※ ダニゲッターフロアブルは、水稲の開花時期に穂に葉害を生じる恐れがあるので注意する。

ぶどう

さび病、褐斑病、べと病防除のため棚面上、下から十分散布する。

散布時期	農薬名	規格	譲渡書	主な対象病虫害	倍水100ℓ 当り薬量	10a当り 散布量	備考
収穫直後 テラウエア	ICボルドー(66D)	5kg	-	さび病 (褐斑病)	50倍 2kg	250ℓ 5kg	雨の多い場合 いずれか 棚上散布
8月上旬 大粒種	スミチオン水和剤40	500g	-	フタテンヒメヨコバイ コガネムシ類成虫	1,000倍 100g	250ℓ 250g	花粉の溶脱と汚染に注意する。
	ICボルドー(48Q)	5kg	-	べと病	50倍 2kg	250ℓ 5kg	
	コロマイト水和剤	500g	-	ハダニ類	2,000倍 50g	250ℓ 125g	

もも

中、晩生種の灰星病(ホモプシス腐敗病)とシンクイムシ、モモハモグリガ、カイガラムシの防除適期です。

散布時期	農薬名	規格	譲渡書	主な対象病虫害	倍水100ℓ 当り薬量	10a当り 散布量	備考
8月上旬	スブラサイド水和剤	500g	○	シンクイムシ類 カイガラムシ類	2,000倍 50g	400ℓ 200g	混用し散布する
	アーデント水和剤	500g	-	シンクイムシ類 モモハモグリガ	1,000倍 100g	400ℓ 400g	
	ロブラール水和剤	500g	-		1,500倍 67g	400ℓ 267g	
	ナリアWDG	250g	-		2,000倍 50g	400ℓ 200g	
	ベルコート水和剤	500g	-	灰星病	2,000倍 50ml・g	400ℓ 200ml・g	
	オンリーワンフロアブル	250ml	-		2,000倍 50ml・g	400ℓ 200ml・g	
	インダーフロアブル	100ml	-		5,000倍 20ml	400ℓ 80ml	

- ・ダイアジノン水和剤34とダコレックス水和剤との混用は葉害の恐れがあるので注意する。

西洋なし

- ・輪紋病とシンクイムシの重点防除時期です。
- ・殺ダニ剤はハダニの発生初期に散布する。

散布時期	農薬名	規格	譲渡書	主な対象病虫害	倍水100ℓ 当り薬量	10a当り 散布量	備考
8月上旬	オキシラン水和剤	500g	-		600倍 167g	600ℓ 1,000g	混用し散布する
	ドキリンフロアブル	500ml	-	輪紋病 (炭そ)	1,000倍 100ml	600ℓ 600ml	
	ストロビードライフフロアブル	250g 500g	-		2,000倍 50g	600ℓ 300g	
	サムコルフロアブル10	200ml	-		5,000倍 20ml	600ℓ 120ml	
	マブリック水和剤20	500g	○	シンクイムシ類 ハマキムシ類 (ハダニ)	2,000倍 50g	600ℓ 300g	
	※ 殺ダニ剤						
8月中下旬	ベルコート水和剤	100g 500g	-	輪紋病 うどんこ病	1,000倍 100g	600ℓ 600g	混用し散布する
	ナリアWDG	250g	-	黒斑病、黒星病 輪紋病、うどんこ病	2,000倍 50g	600ℓ 300g	
	スタークル顆粒水溶剤	250g 500g	-		2,000倍 50g	600ℓ 300g	
	ダズバンDF	167g	○	シンクイムシ類 (カメムシ類)	3,000倍 33g	600ℓ 200g	
	展着剤		-				

- ストロビードライフフロアブルは単用散布、おとうには葉害の恐れがあるので飛散しない様に注意する。

※ 殺ダニ剤

薬剤名	使用濃度	使用時期		対象のハダニ		ボルドー液との混用	注意事項
		7月	8月	リンゴハダニ	ナダミニ		
コロマイト水和剤	2,000倍		○	◎	◎	×	ル・レクチュエに葉害の恐れ
マイトコーネフロアブル	1,000倍	○	○	◎	◎	×	ボルドー液との間隔を前後2週間以上あける
ダニコングフロアブル	2,000倍	○	○	◎	◎	×	

- ※ 抵抗性回避のため殺ダニ剤は連用しない。

おとう

- ・ウメシロカイガラムシの2世代およびハダニの防除適期です。
- ・殺ダニ剤はハダニの発生初期に散布する。

散布時期	農薬名	規格	譲渡書	主な対象病虫害	倍水100ℓ 当り薬量	10a当り 散布量	備考
8月上旬・中旬	ICボルドー66D	5kg	-		40倍 2.5kg	700ℓ 17.5kg	いずれかと混用する
	ドキリンフロアブル	500ml	-	せん孔病	800倍 125ml	700ℓ 875ml	
	スブラサイド水和剤	500g	○	カイガラムシ類	1,500倍 67g	700ℓ 467g	
	アブロードフロアブル	500ml	-	カイガラムシ類幼虫	1,500倍 67ml	700ℓ 467ml	
	オマイト水和剤	500g	-		750倍 133g	700ℓ 933g	
	マイトコーネフロアブル	500ml	-		1,000倍 100ml	700ℓ 700ml	
	ダニコングフロアブル	250ml	-	ハダニ類	2,000倍 50ml	700ℓ 350ml	
	コロマイト乳剤	500ml	-		1,000倍 100ml	700ℓ 700ml	

かき

アザミウマ(スリップス)の最後の防除は8月上旬です。

散布時期	農薬名	規格	譲渡書	主な対象病虫害	倍水100ℓ 当り薬量	10a当り 散布量	備考
8月中旬	アミスター10フロアブル	500ml	-	うどんこ病 炭そ葉	1,000倍 100ml	500ℓ 500ml	アザミウマの多い園地では、ロディー水和剤に変更
	スブラサイド水和剤	500g	○	カキクダアザミウマ カイガラムシ類	1,500倍 67g	500ℓ 333g	
	展着剤						